

(別 紙)

一般社団法人ぎふクリーン農業研究センター

# 平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

## I 法人の概況

### 1 設立年月日

平成16年8月16日

### 2 定款に定める目的（第3条）

岐阜県産農畜産物の安全性の確保、安心感の向上及び県民の健康増進に関し必要な検査、調査、研究及び啓発を行い、もって県内農畜産業の健全な発展に寄与する。

### 3 定款に定める事業内容（第4条）

- (1) 残留農薬分析、土壌分析、米食味分析その他分析検査事業
- (2) 健康増進に関わる農畜産物の研究開発事業
- (3) 岐阜県産農畜産物の情報提供、普及啓発事業
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

### 4 所管官庁に関する事項

岐阜県（農政部農政課）

### 5 会員の状況

種 類	区 分	当 期 末	前期末比較増減
正会員	団 体	11団体	—
賛助会員	団 体	5団体	—
	個 人	—	—
合 計	団 体	16団体	—
	個 人	—	—

### 6 事務所所在地

岐阜市宇佐南4丁目11番5号

### 7 役員等に関する事項

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職
理事長	山内 清久	非常勤	学識経験者
理 事	櫻井 宏	非常勤	ぎふ農業協同組合代表理事組合長
理 事	駒屋 廣行	非常勤	飛騨農業協同組合代表理事組合長
理 事	足立 能夫	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長
理 事	平工 孝義	非常勤	岐阜県農政部長
理 事	前澤 重禮	非常勤	国立大学法人岐阜大学応用生物科学部教授
監 事	岡田 忠敏	非常勤	岐阜県農業協同組合中央会会長
監 事	桑田 博之	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部長

- ・理事：現在数6人（定款第12条第1項第1号による定数は4人以上10人以内）
- ・監事：現在数2人（定款第12条第1項第2号による定数は2人以内）
- ・任期：2年（平成25年6月28日～平成27年6月の通常総会終結時）

## 8 職員等に関する事項

(平成27年3月31日現在)

職員の区分	人数	備 考
職 員	7 名	管理部門2名、事業部門5名
嘱 託 員	一 名	
臨時職員	1 名	産後休暇取得職員の代替
計	8 名	

## 9 許認可に関する事項

該当無し

## II 事業の状況

### 1 農産物の安全性確保及び品質向上に関する業務

#### (1) 残留農薬分析業務

##### ア 多成分一斉分析 (スクリーニング分析)

##### (ア) 分析件数

J Aグループの自主検査対応を主体とする会員からの受託についてはほぼ順調であり、特に穀類は計画及び前年実績を上回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 類	125 件	154 件	123.2 %	135 件	114.1 %
会 員	120 件	152 件	126.7 %	130 件	116.9 %
一 般	5 件	2 件	40.0 %	5 件	40.0 %
園芸作物	725 件	731 件	100.8 %	733 件	99.7 %
会 員	720 件	725 件	100.7 %	728 件	99.6 %
一 般	5 件	6 件	120.0 %	5 件	120.0 %
合 計	850 件	885 件	104.1 %	868 件	102.0 %
会 員	840 件	877 件	104.4 %	858 件	102.2 %
一 般	10 件	8 件	80.0 %	10 件	80.0 %

#### (イ) 分析品目数

72品目の分析を行った。(うち3品目は新規品目)

現在120品目の分析が可能である。

分析件数	品 目 名
50件以上	玄米、トマト、ほうれんそう (3品目)
10～49件	苺、かき、茶、なす、きゅうり、ねぎ、小松菜、枝豆、だいこん(根)、小麦、たまねぎ、人参(根)、さといも、かぶ(根)、だいず、ブロッコリー (16品目)
10件未満	かぼちゃ、日本なし、さつまいも、キャベツ、みずな、しゅんぎく、伏見甘長とうがらし、じゃがいも、ピーマン、未成熟さげ、なばな、白菜、未成熟そら豆、未成熟いんげん、栗、しいたけ、モロヘイヤ、大麦、ぶどう、みかん、もも、いちじく、メロン、サンショウ(実)、ふき、チンゲン菜、やまのいも、にがうり、とうもろこし、グリーンピース、さやえんどう、にんにく、パセリ、ミョウガ、オクラ、だいこん(葉)、レタス、シソの葉、はこべ、ズッキーニ、ショウガ、りんご、えんさい、パプリカ、アスパラガス、ハヤトウリ、粳米(飼料用)、まくわうり、タアサイ、かぶ(葉)、 <u>のらぼうな</u> 、 <u>トマトの苗</u> 、 <u>おうとう</u> (53品目)

(ウ) 分析結果

前年実績に比べ検出値報告事例が減少し、4年連続の減少となった。

(前年実績83件(9.6%))

区分	全 体	内 訳	
		検出あり	検出なし
分析試料数	885件 (100%)	74件 (8.4%)	811件 (91.6%)
報告成分数	242,499成分 (100%)	94成分 (0.04%)	242,405成分 (99.96%)

イ 単成分分析

スクリーニング分析の検出値報告件数の減少に相まって、計画及び前年実績を概ね下回った。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 類	30 件	31 件	103.3 %	26 件	119.2 %
園芸作物	43 件	29 件	67.4 %	30 件	96.7 %
その他	27 件	18 件	66.7 %	29 件	62.1 %
合 計	100 件	78 件	78.0 %	85 件	91.8 %

(2) かび毒分析業務

粳米(飼料用)のみの受託であった。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
小麦他	10 件	3 件	30.0 %	6 件	50.0 %

(3) 土壌分析業務

水稻をはじめとする穀類を対象とした分析は計画及び前年実績を大幅に上回り、園芸品目を対象とした分析については、ほぼ計画どおりであった。

定点調査についても、計画及び前年実績を上回った。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀類対象 3項目	100 件	177 件	177.0 %	97 件	182.5 %
園芸対象 7項目	650 件	665 件	102.3 %	880 件	75.6 %
合 計	750 件	842 件	112.3 %	977 件	86.2 %
定点調査	50 件	82 件	164.0 %	76 件	107.9 %

(4) 米食味分析業務

一般からの依頼が減少し、例年を下回る受託状況であった。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
玄 米	300 件	219 件	73.0 %	330 件	66.4 %

(5) その他分析業務

玄米のDNA及びカドミウム分析については、アウトソーシングにより実施しており、例年をやや上回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
DNA	100 件	113 件	113.0 %	106 件	106.6 %
カドミウム	100 件	111 件	111.0 %	100 件	111.0 %

## 2 農畜産物の認定、認証及び調査に関する業務

○特別栽培米生産管理工程確認の評価業務

前年度に引き続き、ぎふ特別栽培米取扱要領に基づく生産管理工程の確認業務について、全農岐阜県本部より諮問を受け、その評価業務を実施した。

<評価業務内訳>

実施日	評 価 対 象 工 程
26. 10. 30	平成26年産米(早生品種)栽培記録検証工程
26. 11. 18	平成26年産米(晩生品種)栽培記録検証工程
27. 01. 28	平成26年産米精米・玄米袋表示原簿作成工程
27. 03. 30	平成27年産米確認申請書承認工程

## 3 健康増進に関わる農産物及び食品の開発・研究等に関する業務

○生産流通現場改善研究事業

- ・生産流通現場の課題の顕在化とその解決策の構築

平成26年度は、これまでの地域固有産農産物の機能性研究に一応の区切りを付け、生産者に軸足を置いた研究に取り組んだ。

【研究委託先】 岐阜大学

<調査研究結果の概要>

①エダマメの出荷量予測の実態分析と精度向上に向けて

- ・現状：青果物流通において、産地から事前提示される出荷予定数量は重要指標であるが、岐阜県産エダマメの出荷量予測の実態を調査した結果、予

測精度を向上させるための仕組み作りが必要と考え、改善すべき問題点の指摘と取り組むべき改善策の提示を目的に調査研究を実施した。

- ・提案：予測精度を向上させる仕組みとして、「情報共有クラウド」の導入を提案したい。

この「クラウド」に生産者が播種面積や生育情報を、また、JA、全農、農林事務所の担当者が、担当する分野での情報をそれぞれ書き込むことによって関係者全員が基本情報を共有することができる。

このシステムが構築され、稼働することによって今後の出荷量予測の精度が一段と向上するものと期待できる。

#### ②平成27年度の委託研究に関する予備調査の実施

- ・研究題目：イチゴのアグリビジネス化に関する研究

将来のイチゴアグリビジネスを可能にする条件と対応策の提案に向けて、生産状況等の予備調査を行った。

## 4 岐阜県産農産物の情報提供・啓発に関する業務

### (1) 普及啓発業務

県内外からの視察研修の受け入れを行い、センターの活動を中心とした県内産農産物の安全性の確保・安心感の向上に向けた取り組みについて普及啓発を行った。

区 分	県 内		県 外	
	件 数	人 数	件 数	人 数
生産者関係	4 件	56 名	件	名
行政関係	件	名	件	名
J A 関係	1 件	15 名	件	名
そ の 他	件	名	件	名
計	5 件	71 名	件	名

### (2) 情報提供業務

会員及び関係機関や県内生産者を対象に、一般消費者等も視野において、当センターを有効に活用していただくことを目的として、業務の紹介、ぎふクリーン農業に関する情報、経営状況等をインターネットのホームページ上で公開しており、常に最新の情報を提供するとともに、窓口にも資料を備え置いて利用者サービスの向上に努めた。

## 5 会議に関する事項

### (1) 総会の開催

#### ア 第28回通常総会

(ア) 開催日：平成26年6月30日（月）

(イ) 開催場所：JA会館2階大会議室

(ウ) 議 事：平成25年度事業報告・収支決算、平成26年度補正予算

イ 第29回臨時総会

- (ア) 開催日：平成27年3月11日（水）
- (イ) 開催場所：JA会館4階全農岐阜県本部役員会議室
- (ウ) 議 事：平成27年度事業計画、会員別負担金、役員報酬、収支予算、平成26年度事業実施見込み

(2) 理事会の開催

ア 第1回理事会

- (ア) 開催日：平成26年6月12日（木）
- (イ) 開催場所：JA会館4階全農岐阜県本部役員会議室
- (ウ) 議 事：平成25年度事業報告・収支決算、平成26年度補正予算、諸規程の改正、第28回通常総会の開催

イ 第2回理事会

- (ア) 開催日：平成26年10月22日（水）
- (イ) 開催場所：JA会館6階県中央会役員会議室
- (ウ) 議 事：設立10周年記念事業の実施

ウ 第3回理事会（決議の省略）

- (ア) 決議日：平成27年1月9日（金）
- (イ) 開催方法：定款第33条の規定に基づくみなし理事会
- (ウ) 議 事：諸規程の制定及び一部改正

エ 第4回理事会

- (ア) 開催日：平成27年2月18日（水）
- (イ) 開催場所：JA会館4階全農岐阜県本部役員会議室
- (ウ) 議 事：平成27年度事業計画、会員別負担金、役員報酬、収支予算、第29回臨時総会の開催  
平成26年度事業実施見込み